

区分・種別	重要文化財(石造美術)		
名称	じょうぜんじせきとう 乗禅寺石塔 11基		
所在地	今治市延喜		
所有者	乗禅寺	管理団体	
指定年月日	昭和36年3月23日		
解説	<p>江戸時代の住職^{りゅうけんほういん}隆賢法印があみだした、よくあたるといわれる「おみくじ」で有名な^{じょうぜんじ}乗禅寺本堂裏の高台に、宝塔2基、五輪塔4基、宝篋印塔5基計11基の石塔がある。正面中央の五輪塔には、地輪に「正中三年」の年紀銘のほか多数の刻文があり、正面右の宝篋印塔の一つにも基礎背面に「正中三年」の年紀銘のほか多数の文字が刻まれている（注 正中三年は1326年）。また向かって左側の宝篋印塔の中には「延文」の年号が刻まれたものがある（注 延文年間は1356～1361年）。これらの石塔は、近くの谷間に散在していたものを、元禄17(1704)年に集めたものである。それぞれ優れた特長をもち、鎌倉時代から室町時代初期にわたる作品が1か所にあるというのはまれなことで、いずれも貴重な石造美術品である。</p>		

